

第36回育英奨学金募集及び親睦演芸会



恒例の育英奨学金募集及び親睦演芸会が2015年10月18日、小東京のAratani Theatreで大成功裏に終わった。

約700人が来場した。第一部は、西タック氏の司会で、各県人会の有志が、民謡、舞踊、剣舞、歌謡曲、詩吟、そしてフラメンコダンスなどを披露。福岡、和歌山、徳島、群馬、鹿児島、熊本、福島、東京、滋賀、埼玉、沖縄の各県人会のメンバーが日頃の練習の成果を發揮した。観衆は日本の懐かしいメロディーや演芸に、各自故郷に思いを馳せた。

- (3) 中西 茜(和歌山) -日本民謡踊り
- (4) 赤嶺 多美子(沖縄) -琉球箏曲、三味線
- (5) プレホダ 義男(沖縄) -琉球箏曲、琉球三味線
- (6) 富名越 義人(沖縄) -空手道2段
- (7) 天野 翔太郎(広島) -剣道4段
- (8) 林 衿菜(道産子) -言語 日本語
- (9) 丸茂 弥生(道産子) -日本芸術 絵画
- (10) 安田 泰也(関西クラブ) -書道

1982年以来続いている同制度は、日本文化習得に励む若者を対象としている。将来の日本文化の育成と継承にこれらの若者に多いに期待をしたい。



トリを飾ったのは、堀之内秀久在ロサンゼルス総領事。坂本九の名曲「明日があるさ」の弾き語りを披露し、会場を沸かせた。総領事自らステージに立つのは演芸会はじまって以来のことである。

第二部の前半は、森ジョージ氏の司会による育英奨学資金授与式にて次の10人に1000ドルが渡された。

- (1) 出木谷 愛里(埼玉) -地歌三絃(三味線)
- (2) 岡村 辰介(鹿児島) -日本語学校修学

続いて、日本からの特別ゲスト、京都出身の演歌歌手、多岐川舞子さんによるスペシャルステージが繰り広げられた。鮮やかな紅葉を散りばめた着物姿で張りのある美声に観衆はうっとり聞き入った。ご自身の曲、津軽絶唱、七尾しぐれ、などのほか、往年の名曲、越後獅子の歌、東京ブギウギ、上海帰りのリルなどを熱唱し観客を魅了した。トランク一杯に詰めてきたというCDも完売し、「ロスのお土産を詰めて帰ります」と微笑む多岐川さん。これからも「ひとの心に響く歌手」をモットーに



活動を続けていきたいという多岐川さんの大きな活躍を期待したい。(文責: ケースビヤ章子)

演芸会アルバム



(All photos : Steve Crise)

敬老感謝の集い

2015年9月19日、「敬老感謝の集い」がクワイアットキャノンにて開かれた。堀之内秀久在ロサンゼルス総領事を主賓に迎え、60人ほどが出席した。

豊田国峰氏による迫力ある祝吟にはじまり、今年80歳を迎えた野田健一氏、井川隆実氏、宮崎マック氏、斉藤彰氏、大谷明義氏、及び中村達司氏の6名が表彰状を受彰した。

また、野崎住吉氏、宮内武幸氏には88歳の米寿特別贈呈が送られた。前原勉氏と三宅明己氏は96歳を迎えた最年長者として表彰状を受彰した。

余興として、妹尾大介氏のマジック、鈴木奈奈秀さんらによる黒田節、佐藤芳江さんの演歌、西タックさんの八木節、そして、堀之内総領事による弾き語り披露され、会を盛り上げた。



幾山河へのご意見やご感想をどうぞお寄せ下さい。

(Yoko.Mazza@Gmail.comまで)

幾山河はウェブサイトからダウンロードできます。

www.JPASC.org/media.html 幾山河をクリック。

JPASC 幾山河編集部